

# S I D R

## 滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 7 巻第 33 号

第 33 週(8月13日～8月19日)

発行年月日:平成19年(2007年) 8月24日

発行:滋賀県衛生科学センター内  
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

### 今週の感染症発生動向

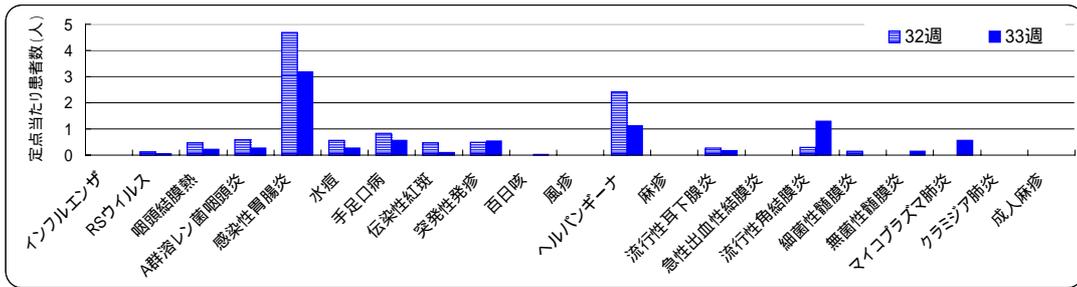
#### 腸管出血性大腸菌感染症の発生は持続

定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は、お盆の時期であるため休診となる医療機関が多く、前週の報告数よりかなり少なくなっています。今週増加した疾患は突発性発しん、百日咳、流行性角結膜炎、無菌性髄膜炎およびマイコプラズマ肺炎です(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

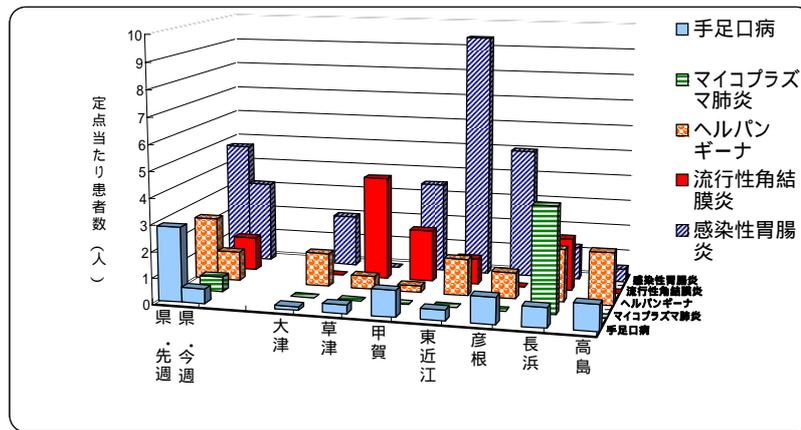
「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」によると、咽頭結膜熱(プール熱)では先週に引き続き大津および東近江に、ヘルパンギーナでは長浜および高島に警報が発生しています。

全数把握対象疾患では、二類感染症の結核で3名、三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症で1名の届出がありました。

定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(前週との比較、定点当たり患者数)



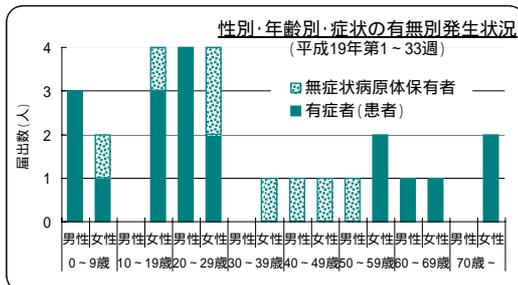
上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第33週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、感染性胃腸炎、流行性角結膜炎、ヘルパンギーナ、マイコプラズマ肺炎、手足口病の順に多くなっています。感染性胃腸炎は東近江で流行性角結膜炎は草津で、マイコプラズマ肺炎は長浜で多くなっています。

#### 腸管出血性大腸菌感染症の性別・年齢別・症状の有無別発生状況

(平成19年第1～33週、H19.1.1～H19.8.19)



平成19年第1～33週における性別・年齢別・症状の有無別発生状況はグラフに示すとおりです。今年は昨年同時期を上回る患者数となっています。

#### 予防のための注意:

- ・食肉など加熱して食べる食品は十分に加熱し、特に、生レバーやユッケなど、食肉を生で食べることは避けましょう。
- ・ヒトからヒトへの二次感染を予防しましょう。(手洗いの徹底、保育施設等における簡易プールの衛生管理の徹底など)

## 1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

平成18年12月8日に感染症法の一部改正が公布され、平成19年4月1日から施行されています。同法に基づき結核は二類感染症に、またコレラ、細菌性赤痢は三類感染症に分類されています。

感染症類型	疾患名	報告数 (33週)	累積報告数		平成18年報告数	
			滋賀 (33週)	全国 (33週)	滋賀	全国 <sup>(*)1</sup>
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	3	107	7,638	-	-
三類感染症	コレラ	0	0	9	1	47
	細菌性赤痢	0	<sup>(*)2</sup> 2	320	<sup>(*)3</sup> 6	483
	腸管出血性大腸菌感染症	1	27	2,277	54	3,910
四類感染症	E型肝炎	0	0	38	2	70
	A型肝炎	0	0	103	21	316
	デング熱	0	1	46	0	57
	マラリア	0	1	29	0	61
	レジオネラ症	0	6	382	11	508
五類感染症	アメーバ赤痢	0	9	502	8	738
	ウイルス性肝炎	0	1	140	0	275
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	3	97	0	177
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	65	6	107
	後天性免疫不全症候群	0	6	907	8	1,301
	ジアルジア症	0	0	32	1	87
	梅毒	0	0	408	4	625
	破傷風	0	0	59	1	115
	急性脳炎	0	2	155	1	160

\*1:平成18年報告数は、平成19年に滋賀県で報告された疾患を対象としています。

\*2:検査法第26条の3に基づく検査所長から滋賀県知事への通知分です。

\*3:検査法第26条の3に基づく検査所長から滋賀県知事への通知分2件を含みます。

### 全国における全数報告感染症の発生状況 - 第33週(8/13～8/19) -

一類感染症: 報告なし	四類感染症: マラリア 1例	五類感染症: 後天性免疫不全症候群 11例
二類感染症: 結核 181例	デング熱 3例	バンコマイシン耐性
三類感染症: 細菌性赤痢 11例	オウム病 1例	腸球菌感染症 1例
腸管出血性	日本紅斑熱 3例	クロイツフェルト・ヤコブ病 1例
大腸菌感染症 130例	レジオネラ症 11例	アメーバ赤痢 7例
腸チフス 3例	レプトスピラ症 1例	梅毒 5例
	ライム病 1例	

## 2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点<sup>\*</sup>から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。<sup>\*</sup>疾患により定点数は異なります。

### (1) 疾病別・週別発生状況(平成19年第28～33週、7/9～8/19)

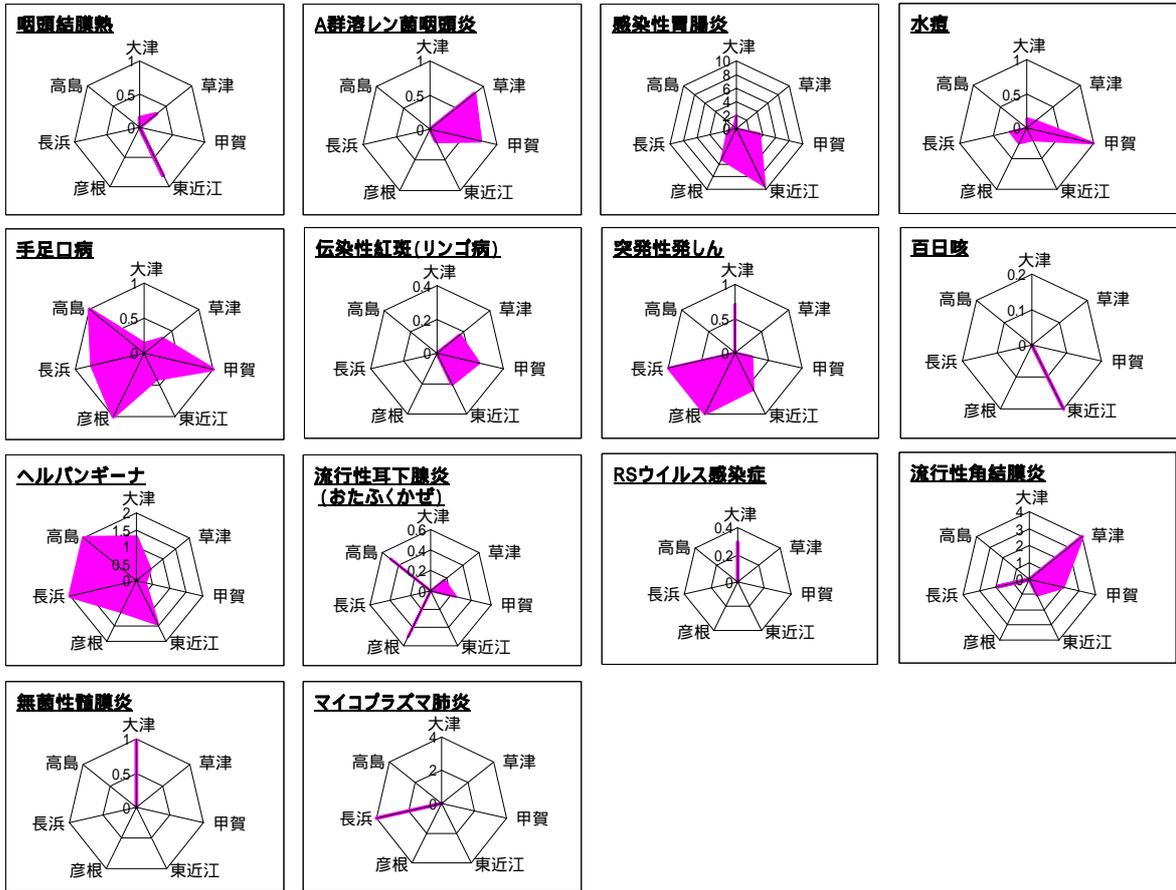
疾患名	定点当たり患者数										
	前週より増加					前週と同じ		前週より減少			
	28週 (7/9～)	29週 (7/16～)	30週 (7/23～)	31週 (7/30～)	32週 (8/6～)	33週 (8/13～)	29	30	31	32	33
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0					
RSウイルス感染症	0	0.03	0	0.03	0.13	0.06					
咽頭結膜熱(プール熱)	0.72	0.81	0.91	0.69	0.47	0.22					
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.44	0.66	0.50	0.31	0.59	0.28					
感染性胃腸炎	5.97	4.84	3.97	4.34	4.69	3.16					
水痘	1.00	0.91	0.78	0.66	0.56	0.28					
手足口病	1.00	1.22	1.09	1.09	0.84	0.56					
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.84	0.53	0.75	0.53	0.47	0.09					
突発性発しん	0.50	0.53	0.69	0.69	0.50	0.53					
百日咳	0.03	0	0	0	0	0.03					
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0					
ヘルパンギーナ	5.00	4.84	4.88	3.03	2.41	1.13					
麻しん(成人麻しんを除く)	0.03	0	0	0	0	0					
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.59	0.47	0.59	0.63	0.28	0.16					
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0					
流行性角結膜炎	0.29	0.29	0.57	0	0.29	1.29					
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0.14	0					
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0.14					
マイコプラズマ肺炎	0.29	0.14	0	0.29	0	0.57					
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0					
成人麻しん	0	0	0	0	0	0					

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第33週、8/13～8/19)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況 (県全体)
	県	大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	
RSウイルス感染症	0.06	0.29	0	0	0	0	0	0	
咽頭結膜熱(プール熱)	0.22	0.14	0.33	0	0.80	0	0	0	■
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.28	0	0.83	0.75	0.20	0	0	0	■
感染性胃腸炎	3.16	2.00	0	3.50	9.40	5.00	1.25	0.50	■
水痘	0.28	0.14	0.17	1.00	0.20	0.25	0.25	0	■
手足口病	0.56	0.14	0.33	1.00	0.40	1.00	0.75	1.00	■
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.09	0	0.17	0.25	0.20	0	0	0	■
突発性発しん	0.53	0.71	0	0.25	0.60	1.00	1.00	0	■
百日咳	0.03	0	0	0	0.20	0	0	0	■
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	1.13	1.29	0.50	0.25	1.40	1.00	2.00	2.00	■
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.16	0	0.17	0.25	0	0.50	0	0.50	■
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	1.29	0	4.00	2.00	1.00	0	2.00	0	■
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0.14	1.00	0	0	0	0	0	0	■
マイコプラズマ肺炎	0.57	0	0	0	0	0	4.00	0	■
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0	

■ は定点当たり患者数が先週より増加    
 ■ は警報発生中    
 ■ は注意報発生中    
 0 1 2 3 4 5    
 定点当たり患者数(人)

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



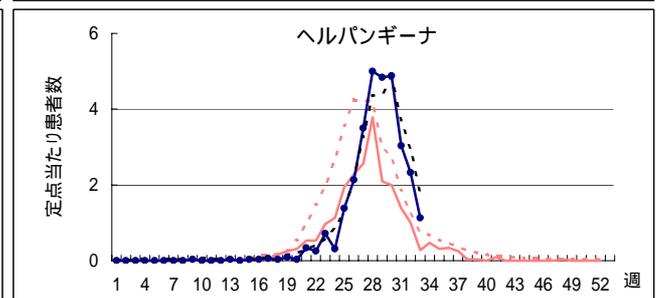
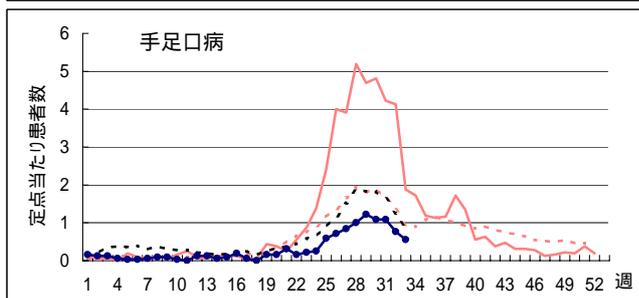
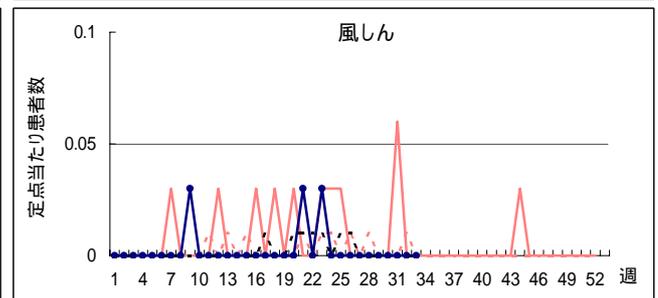
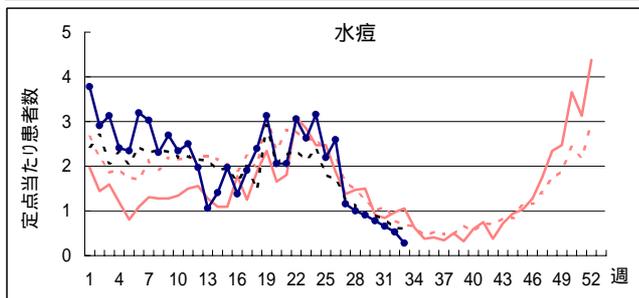
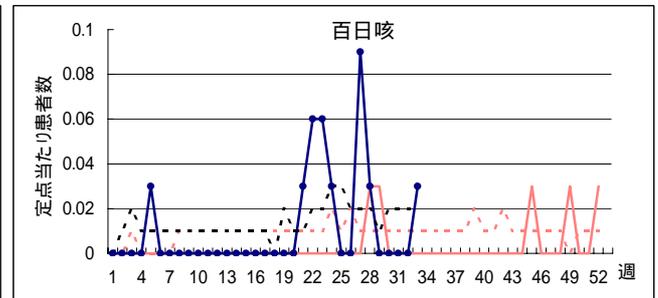
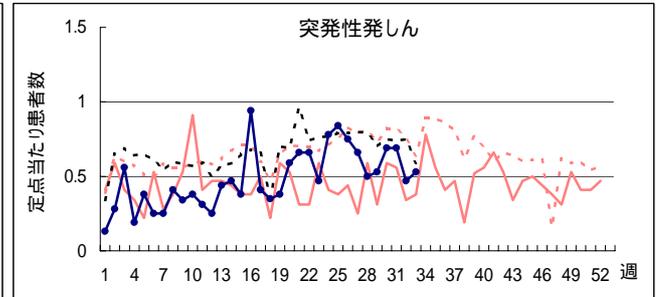
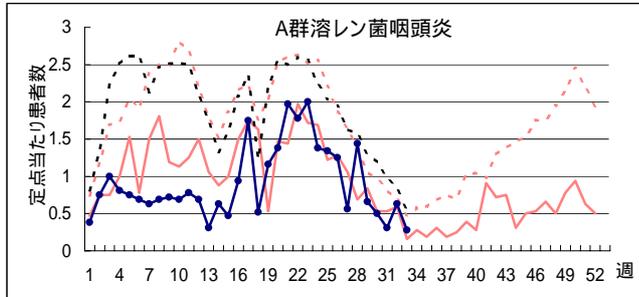
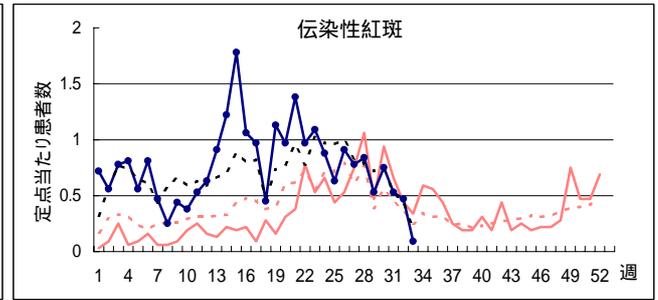
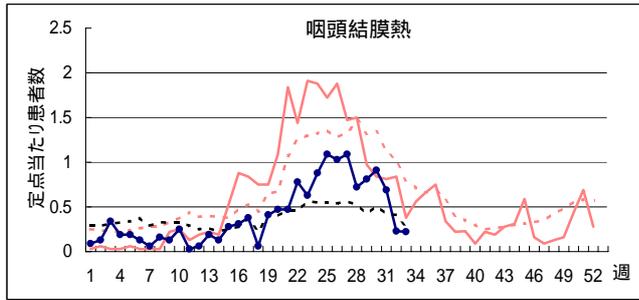
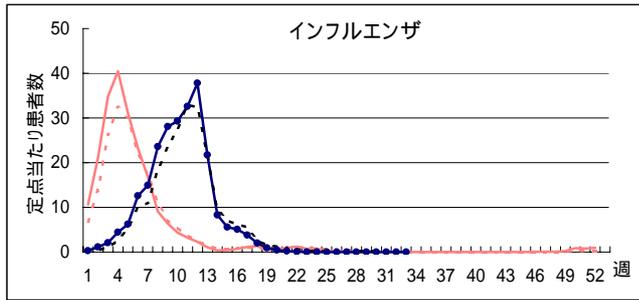
今週の発生状況：

咽頭結膜熱-----大津および東近江における定点当たり患者数が警報継続基準値(0.10)を超えているため、先週に引き続き警報が発生しています。

感染性胃腸炎-----県全体では先週より減少していますが、東近江および彦根で先週より増加しています。

ヘルパンギーナ-----県全体では先週より減少していますが、東近江で先週より多くなっています。また、長浜および高島では警報継続基準値(2.00)を超えているため、先週に引き続き警報が発生しています。

# 疾病別定点当たり患者数(平成19年第1週～第33週、H19.1.1～H19.8.19)



# 疾病別定点当たり患者数(平成19年第1週～第33週、H19.1.1～H19.8.19)

H18  
 〔 滋賀 ————  
     全国 - - - - -

H19  
 〔 滋賀 ●—●—  
     全国 - - - - -

